

この計画書は、地域の自治会代表者や多くの関連団体代表者で構成された「伝統的風景計画策定委員会」でのワークショップや、学識者等で構成する「風景づくり委員会」のご指導、さらには、多彩な講師を招いた風景づくりセミナーを開催し、みんなで風景づくりについて学びながら策定しました。

ワークショップではまち歩きを実施し、わがまちの風景を再確認しました。セミナーでは、ボランティアガイドの方や伝建地区の住民の方など多様な視点から伝統的風景についてお話をいただき、その価値を共有してきました。

素案の段階では、住民説明会を開催し、パブリックコメントの期間をもうけて、多くの市民の意見を反映させて策定させていただきました。

その他にも多くの関係者のご協力をいただきましたことに対し厚くお礼申し上げます。



策定委員会によるまち歩きの様子



ワークショップの様子



## 日本の風景づくりをリードする市民活動

### 八幡堀を守る会

#### 景観づくりの視点があつた先駆的な活動

市民や行政が協力し合い400年間栄え続けてきた八幡商人のシンボルとしての八幡堀が再生しかけられています。昭和40年代に始まった八幡堀の修景保存運動。今日でこそ景観は重要であるという社会認知がありますが、当時は市民レベルでのまちづくりや、国全体としても景観まちづくりはほとんど意識すらなかった時代であります。まさに風景づくりとしての市民活動としては先駆的な団体として本市の誇りです。

#### 市民の力が入って本物の風景

周辺住民の関わりがなければ、堀は単なる映画のセットと同じで本物の風景とはなりません。修景事業が整備されつつあるなか、市民の力で美しく維持していくこと昭和63年に周辺自治会、各種団体、企業等の参画を得て「八幡堀を守る会」が発足しました。二度とドブ川にならないように子々孫々へ風景とともに伝統ある歴史文化を継承していきます。

**データ**  
設立／昭和63年4月  
主な活動／堀周辺の清掃作業、機関紙発行交流会、イベント協力  
会員数／200人



## 町並み保全と創造のための相談事業を展開

### NPO法人 はちまんまちづくり「間」の会

「間」の会は、住まいづくりに携わる人が、住まいづくり、まちづくりの担い手としての意識を持ちながら、近江八幡の自然環境・歴史・伝統産業などを育ってきた地域固有の住まいや住環境を十分に認識し、近江八幡の固有の住文化の継承と創造に貢献することを目的として設立されました。

現在、地域の歴史・風土に適した住文化づくり(住育)や福祉を重んじたまちづくりが求められており、それは近江八幡の文化的価値観の向上をはじめとして、この地域に住まいする市民がより快適な生活を送り、予防介護・医療が受けられる生活空間づくりであると考えます。

「間」の会は、近江八幡の自然環境・歴史・伝統・固有の産業を生かしつつ、地域に根ざしたひと・すまい・まちを作り出していくことを基本として、人と人、人と住まい、人とまち、住まいとまちの「間」を繋いでいくような活動を行っていくことを「間」の会と称し、まちづくり活動を行っています。



**データ**  
設立／平成9年6月  
主な活動／住宅・店舗の改修相談及び提案事業、改修工事業者の紹介及び工事監理事業、空き家・空き店舗のコーディネート事業、住文化づくりの研修事業、住宅・店舗を利用した社会福祉事業  
会員数／26人

## 魅力ある風景は地域の誇り、 守り育てるのは住民の責務

### 八幡山の景観を良くする会

美しい里山景観を取り戻そうと言う呼びかけに賛同した元気なシルバー世代の集まり。

近江八幡市民のシンボルとも言える八幡山は、秀次候の居城があった歴史的な山でもあり、大勢の観光客が頂上からの眺めを楽しんでおられます。

ところが近年、竹林やツタ、樹精の強い樹木がはびこり、荒廃が進んでおります。昔の里山は燃料供給地として適度に維持管理されてきましたが、今では人手が入らなくなった為に荒れてしまっているわけです。

かつて子供たちが遊んでいた明るい里山風景を取り戻すと、竹林と共に立派なコナラ林の間伐整備をすると共に、山の彩を楽しめるように計画的な植樹も併せて行っています。

更に里山景観保全の専門家や、野外活動の専門家(子供の山遊び指導)の指導も受けながら、市民・地元の子供達、更には八幡を訪れる観光客の皆さんに親しまれる山を目指した幅広い活動に取り組んでいこうと、夢を膨らませています。

**データ**  
設立／平成17年3月  
主な活動／月2回間伐や伐採作業  
会員数／55人



## 町家に調和したヴォーリズ建築

### NPO法人 ヴォーリズ建築保存再生運動 一粒の会

#### 建築を通してのまちづくり

洋風建築でありながら違和感無く町家の並ぶ風景になじんでいるヴォーリズ建築。旧市街地の和洋混在の風景と周囲の自然景観は本市の代表的な原風景として私たちの心の拠り所となっています。

#### 単なる洋風住宅ではない

ヴォーリズ建築は耐久性、耐震性、経済性、快適性を重んじることや、気候風土や周辺景観に配慮するため伝統的な八幡瓦、漆喰塗、土壁、下見板張やベンガラを使用しています。結果として伝統的な町家風景に調和した建物として、また一種の彩りを添えています。

#### ヴォーリズ建築から人づくりへ

住む人の身になり、かつ周囲の風景にも配慮した住宅を造ったため、やさしい外観にやしさを感じとれ魅力あるものになっています。ヴォーリズ建築の保存再生運動を通し、人にやさしい建築のあり方や歴史を活かしたコミュニティ育成などを考えまちづくりに寄与しています。



**データ**  
設立／平成9年10月  
主な活動／ヴォーリズ建築の保存改修、研修、講演会、見学会の実施  
会員数／100人